

メールアドレス tadashi6414@smile.ocn.ne.jp

HP <http://yama-to-hana-no-tayori.sakuraweb.com/>

そそり立つ二つの岩峰・兜岳(920m)と鎧岳(894m)

10月1日、天気予報では午後から晴れとのこと。近鉄榛原駅前からの路線バスは8:46 曾爾(そに)村役場前に到着。役場で「観光ガイド BOOK」をもらい、トイレをお借りして9:05 歩き出す。

門僕(かどぶさ)神社のお葉つきイチョウ

曾爾川(青蓮寺(しょうれんじ)川)沿いの国道を下るとすぐに門僕神社に。鳥居のそばに「お葉つきイチョウ」が聳えている。この樹も桜井市の音羽山観音寺のイチョウと同様、奈良県天然記念物に指定されている。

カケスが騒ぐ今井林道に

9:12 今井林道入り口に。この道は「県道赤目掛線」

となっており、ここから名張市赤目に通じ

ているが、現在車は通行止めとなっている。緩やかに蛇行している舗装道路をゆっくりと昇っていく。奥香落(おくこうおち)オートキャンプ場への道を左に見送り、右崖下に長走りの滝を眺めながら進む。路傍のシラネセンキュウの白い花の塊が鮮やか、アフリカ原産のベニバナボロギクがオレンジの花を見せている。そして林の中では数羽のカケスが騒々しい声で鳴き騒いでいる。あまり歓迎されていないようだ

1時間余歩いて登山口に

10:00 清浄坊の滝分岐を過ぎ、10:20 兜岳登山口に到着。ここまでの1時間余、自ら車を運転していた時には、考えもしなかった行程だ。アケボノソウが濃緑の斑点のある5弁の白い花をくっきりと開いている。

杉・檜林の中の小径を下って細い流れを渡り、兜岳への登りにかかる。

こんなにしんどかったかな

岩場を織り交ぜての急登をあえ

ぎあえぎ登り、11:30 兜岳山頂着。「こんなにしんどかったかな」。過去2回登っているとは言え、前回から20年以上経っているのだ。改めて体力、脚力の衰えを痛感。「歳にみ

あった計画にしいや」と言う妻の顔が浮かんでくる。

山頂にタマゴタケが

山名板のある頂上は雑木林

下の広場になっており、展望はない

が、タマゴタケが出ている。多くはカサを開いているが、地中から姿を現したばかりなのか、二つの個体が泥だらけで並んでいる。



↑見事な柱状列石を連ねた鎧岳(写真は城さん)



↑門僕神社のお葉つきイチョウ

ぎあえぎ登り、11:30 兜岳山頂着。「こんなにしんどかったかな」。過去2回登っているとは言え、前回から20年以上経っているのだ。改めて体力、脚力の衰えを痛感。「歳にみ

↓長走りの滝

あった計画にしいや」と言う妻の顔が浮かんでくる。



↑シラネセンキュウ(セリ科)



そしてシロツチガキも

山頂の近くでシロツチガキ(白土柿)が数個出ていた。タマゴタケもシロツチガキも可愛いキノコ。タマゴタケは今年二上山でもたくさん出現したが、シロツチガキは長い間見かけていないので懐かしかった。

峰坂(むねさか)峠へと下る

峰坂峠への下りも険しい急坂だ。ここで故障を抱え

↑タマゴタケ(写真は二上山で) る左ひざを痛めてしまった。峠に 12:35 着。ここで

↓シロツチガキ

小休止して、小さなピークを越えて鎧岳へと向かう。道は人工林の中、展望もなく、花も少ないが、ツルリンドウが花と実を並べて見せていた。あの宝石のように輝く真紅の実が泥にまみれてい

↓アケボノソウ(リンドウ科センブリ属)

息をはずませながら鎧岳山頂に

鎧岳への最後の登りは岩や石がむき出しの急登、ロープや岩にすがりながら登る。またもや「こんなにしんどかったかなあ」との思いが頭をよぎるが、そんな自分に舌打ちしながら 13:25 鎧岳山頂に。ここも展望はなく、曇天下で強く、冷たい風が吹いている。

下山路は初めてのルート

鎧岳山頂から往路を戻るとすぐに分岐がある。今登ってきた道は西に向かって今井林道入口にでるが、この道は何度か歩いている。北に向かう道は途中で右折してより下流の国道に出るはずだが、未知のルートだ。

「いいチャンスだ」と思い、初めての道を歩くことにした。

長いジグザグの下りに疲れた

緩やかなアップダウンを経て、道は稜線を離れ、人工林の中をジグザグに下ってゆく。長く、面白くない道だが、暗い林床に花を見せるアキチョウジに慰められながら下る。

途中道に迷い、15:20 葛(かずら)のバス停に出た。

紅葉時に見てみたい鎧岳

下から見上げる鎧岳は迫力満点。壁面に紅葉が絡むと文字通り“赤絨緞(あかいとおどし)”となるだろうか。

左ひざの痛みと両太ももの筋肉痛は、翌朝の新聞配達時まで残っていた。

↓麓から見た兜岳(左)と鎧岳(右) 写真は別の日に城さんが撮影したもの



かなあ」との思いが頭をよぎるが、そんな自分に舌打ちしながら 13:25 鎧岳山頂に。ここも展望はなく、曇天下で強く、冷たい



↑アカバナポロギク(キク科)

↓アキチョウジ(シソ科)

